

# RSウイルスワクチン の取扱いを開始しました①/3

## RSウイルス感染症



年齢を問わず何度でも感染  
4 - 5 日間の無症状潜伏期間



発熱、咳、鼻水、呼吸困難  
喘鳴（ヒューヒュー音）症状長引きやすい

特に

高齢者

慢性心疾患

慢性閉塞性肺疾患（COPD）

免疫力低下

他の基礎疾患

介護施設入所中

の方は通常より重症化する可能性があります※1



乳幼児では2歳迄にほぼ全員がRSウイルスに感染  
重症化リスク因子のある乳幼児では入院が必要に  
なることもあります。

※1 厚生労働省: RSウイルス感染症Q&A（令和6年1月15日改訂）



# RSウイルスワクチン の取扱いを開始しました②/3

## RSウイルスワクチン



### 本ワクチンの目的

#### ①60歳以上

本人の抗体価を上げて、RSウイルス感染の予防・ウイルス感染による重症化を予防する

#### ②妊婦

母体のRSウイルスに対する抗体価を上昇させ、胎児へ胎盤を通して移行することで、出生後概ね6か月程度までのウイルス感染・ウイルス感染による重症化を予防する

### ワクチン概要

対象 ①60歳以上

②妊婦（24-36週時期・推奨28-36週）

目的 RSウイルス感染症・下気道疾患の発症予防

接種薬剤 「アブリスボ筋注用」（2価ワクチン）

有効性<sup>※2</sup> 重症化予防85.7%・発症予防62.1%<sup>※3</sup>

接種方法 筋肉注射

接種回数 1回

費用 1回あたり自費¥33,000（要予約）

※2 国際共同第Ⅲ相試験（C3671013試験：RENOIR試験）より

※3 RSウイルス感染を有する3つ以上の下気道症状の発現率



# RSウイルスワクチン 説明事項③/3

## 副反応※

60歳以上 局所・・・疼痛10%以上、紅斑・腫脹1-10%未満  
免疫系・・・過敏症1%未満

妊婦 局所(注射部位)・・・疼痛40.6%、紅斑・腫脹10%未満  
精神神経系 ……頭痛31.0%  
筋骨格系 ……筋肉痛26.5%



## 接種できない方※

- ①明らかな発熱を呈している方
- ②急性疾患に罹患中の方
- ③このワクチンの成分でアナフィラキシーを起こした方
- ④その他、医師により不相当と判断された方

## 接種可能か医師に相談が必要な方※

- ①基礎疾患のある方
- ②過去にけいれんを起こした方
- ③予防接種でアレルギー歴のある、又はその恐れがある方
- ④本人・血縁に免疫不全と診断されたことのある方
- ⑤血小板が少ない・出血しやすい方
- ⑥妊娠中・授乳中の方



接種を希望される方はスタッフにご相談ください。